

私立大学情報教育協会
平成27年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告
A-2班 東京と福井と九州

1

A-2班グループ名の紹介

- ・東京が3大学
- ・福井が1大学
- ・九州が3大学

2

ツナガリ

～社会と地域のニーズに合った
人材を育成する～

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

- ①実社会で活躍できる人材育成
- ②地域への貢献

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

- ①「求められる人材」の教育
- ②きっかけの提供

テーマ選定理由(2) 大学の役割

求められる人材とは？

①協調性

②課題解決

③主体性



時代や地域によって求められる人材は違う



大学側からの適宜のサポートが必要になる

テーマ選定理由(3) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

自主的な学生	大学のサポートなしに行動できる
その他	自主的な行動ができず、何らかのサポートが必要 例：GW明けに学校へ来なくなる学生・・・

役割を果たすために、どのような取り組みが必要か？

- ①「その他」の学生が行動できるような仕組み
教職員のサポートは勿論のこと学生間でのサポート体制作り
- ②その仕組みを支援できるようなツールの提供

テーマ選定理由(4) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

- ①在学期間を通じてその時求められる人材像の理解
- ②学生が学生をサポートできる仕組み作り（グループ化）

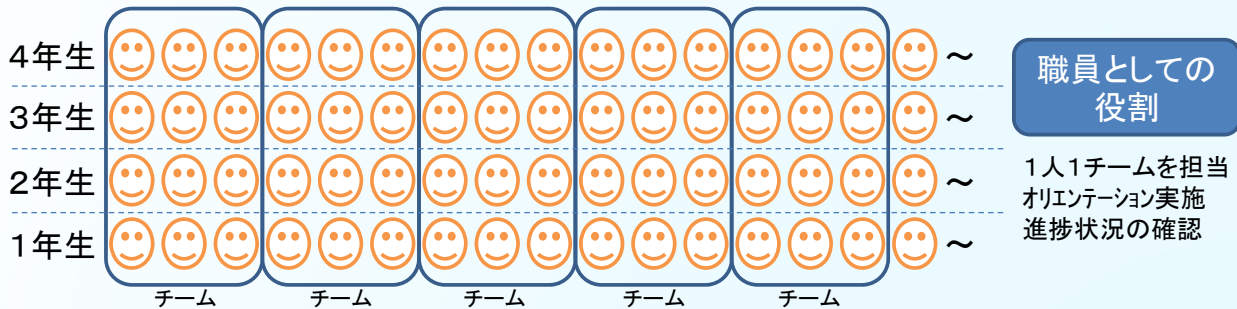


**発表テーマ
ツナガリ
～社会と地域のニーズに合った人材を育成する～**

問題点の深堀

- ①社会で求められている人材像が抽象的
- ②目的・目標がない中での4年間
（大学全入時代による学生の質低下）
- ③大学の取組目的を在学生在が知る機会・知らせる手段がない
- ④教職員との関わりが少ない学生へのサポート体制がない

解決策の検討



目的

人材像の意識
学生同士のサポート

活動内容

地域活動(イベントへ参加等)
学修支援 等

ICT
活用

ポータルサイト

機能:

- ・学生・教職員同士が
つながるようなSNS
- ・チームごとの活動履歴の蓄積

大学のイノベーションの提案①

提案の概要

社会に役立つ学生の育成と、その取組を学生同士で相互補完
できる仕組みの構築

何を問題として捉えたか

- ①「求められる人材」になる為の体験への機会が希薄
- ②積極的ではない学生に対し、
大学側としてサポートしきれていない

問題を解決する方法として何を提案するのか

学生に「求められる人材像」を入学後すぐに意識できる仕組み
学生同士が積極的ではない学生をサポートできる制度
→もちろん、教職員も参画

大学のイノベーションの提案②

解決されたときの姿

(どのような状況になれば目的が達成されたといえるのか?)

- ①早い時期からの将来への意識付けを行い、刻々と変化する世相に合致した人材像を在学期間を通して意識できる
- ②積極的ではない学生へのサポートも学生同士で行う事により、より効果的なアプローチをすることが出来る